

募集 フェスティバル・フェロー

(受講生)

芸術祭の企画・運営に参加するフェスティバル・フェロー（受講生）を募集いたします。フェスティバル・フェローは、平成27年6月から平成28年3月まで、ひと月に1～3回開催される関連セミナーやワークショップ、アート・イベントなどに参加して芸術祭制作の内容と方法について学びます。詳細は裏面に記載。

声なき声 かかるところに いたる 私の声 芸術祭Ⅲ

この芸術祭では、「記憶」「デモクラシー」「個」という人文社会学系の主題をコンセプトとし、芸術制作を通して芸術の未来を考察し、「Festival as Research リサーチとしての芸術祭」の企画・実施による新しい人材育成の方法論を提供します。本プログラムは、演劇、音楽、美術、パフォーマンスなどの現代芸術を広くカバーして、多様な芸術ジャンルに対応できる人材育成を行い、単に芸術祭の実務面でのマネジメント能力のある人を育成するのではなく、芸術祭のコンセプトや内容にまで立ち入って企画運営に関与できる人材を育成するのが目的です。過去2年で、芸術祭開催に向けたセミナーやワークショップや、芸術祭そのものの企画・運営を中心に行いました。3年目となる平成27年度は、受講生発案企画を含む、これまでの経験を活かした実践的な企画が始まります。

主催：大阪大学大学院文学研究科 〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5

公式サイト：koefes.org

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/ja/research/activities/projects/artfestival>

共催：大阪大学コミュニケーションデザイン・センター、大阪大学大学院国際公共政策研究科、大阪大学総合学術博物館

助成：平成27年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」

「劇場・音楽堂・美術館等と連携するアート・フェスティバル人材育成事業」



オープニング連続イベント アート・フェスティバル基礎講座

「アート・フェスティバルに学ぶ」 初回6月27日

(～7月12日までの土日・午後2時間)

1. フェスティバルの理念と運営 (6月、7月、3月)

芸術祭の企画と運営のための理念と方法を、文化政策論、現代芸術論、美学、演劇史、音楽史、現代アート論などから多面的に講義・議論する基礎講座。受講生必修科目。

2. 市民参加型演劇とアウトリーチ (11月、12月、1月)

2011年度から始まった「メイシアター・大阪大学共同事業」は、本プログラム担当教員である蓮行の監動したアウトリーチプログラムを企画・実施し、劇場(文化施設)・大学・地域の有機的連携のあり方を実践的に学ぶ。

3. 国際イベントの運営—芸術と共生— (7月、9月)

Art Theater dB KOBEで開催する国際色豊かなダンス公演の運営を劇場スタッフと共に担いながら、アートコーディネーターやアートマネージャーの素養を身につける基礎編。④の「AIR」と連動して応用編へと発展します。今日の社会や技術について考えながら、企画・制作・運営を行います。

4. AIR アーティスト・イン・レジデンス<受講生企画 Vol.1> (7月～1月)

作家、ジュピター・プラダン氏(ネパール)を招き40日間(12～1月)のAIRを実施。7月から定期的にWSを開き、作家と受講生が協働してリサーチを積み重ね、プレゼンテーションを行う。これらの企画・運営・広報を受講生が担う。また、作家との協働の方法も探る。

5. 音/身体/メディアをめぐるワークショップ (12月)

音と身体の問題をきっかけに、現在、最も刺激的な活動を展開している三輪真弘氏(IAMAS)を招き、現代の音楽実践における音楽企画について考える。

6. 都市魅力創造と芸術祭 (7月、10月～12月)

大阪大学・京阪電車・ダンスボックスの共同運営による中之島・なにわ橋駅地下コンコースのコミュニティースペース「アートエリアB1」。本拠の主催事業「鉄道芸術祭」を通じて、都市魅力創造に資するアートマネジメントのあり方を学ぶ。

7. 伝統芸術の現代化<受講生企画 Vol.2> (9月～11月、2月)

浪速神楽の実際を通して、地域における伝統芸術がどのように土地と連携し継承されているのかを学び、『伝統芸術の現代化』をテーマにした企画を考える。

8. ドキュメンテーション/アーカイブ (7月、8月、11月)

伝説的なパフォーマンス作品の記録上映会とパブリックトークの開催(vol.1)、remo [NPO法人 記録と表現とメディアのための組織]を講師に本フェスティバルを記録収集する実践(vol.2)を通し、メディアを批判的に用い、多様な《声》を集める術を学びます。

フェスティバル・フェロー (受講生) 募集

募集要項

応募資格：18歳以上

演劇、音楽、美術、パフォーマンスなど芸術全般に興味があり、芸術関連諸機関等に在勤、あるいはこれらの職種への勤務を希望している方

*年間プログラム終了後、修了者には修了証を授与

定員：15名程度

受講料：22,900円(1年間)

応募締切：2015年5月31日(日)

選考方法：応募者多数の場合は選考します。

選考結果：メール、もしくは郵送にて応募者全員に通知します。

提出書類：①履歴書 高校卒業以降の学歴と職歴。また特に選考の上で役立つと思うものがあれば、具体的に記入してください。

②小論文「このコースを受講することによって実現したいこと」(400字程度)

応募方法：<インターネット>芸術祭HP (<http://koefes.org/2015oubo/>) 申込フォームまたは、提出書類2点を添付のうえ、本文には氏名(ふりがな)・郵便番号・住所・連絡先(電話番号、メールアドレスの明記は必須)を記入して、E-Mailにて koefes@let.osaka-u.ac.jp 宛)まで送付してください。

<郵送>提出書類2点、82円切手を貼った返信用封筒を同封の上、次の宛先まで郵送してください。〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5 大阪大学文学研究科 アート・フェスティバル人材育成事務局

お問合せ：大阪大学文学研究科 アート・フェスティバル人材育成事務局・問合せフォーム <http://koefes.org/inquiry/> より必須事項を記入して送信ください。

※いただいた個人情報は本プログラムのため以外には使用いたしません。

